

### 今後の研修計画

3月25日の定例会の後、研修会を行いました。  
新協力会員の舟戸愛子さんと金沢光子さんが、今まで  
の経験を生かして講師を勤めてくださいました。

舟戸さんは、「在宅介護をするに当たっての心得」について、14項目もの重要なポイントをお話くださいました。金沢さんは、2本のビデオを基に、在宅介護の入浴介助・排泄介助について解説してくださいました。

これからは、定例会の終了後に、毎回研修会を行います。

- ★ 4月22日(土) 「清拭の援助」 雁宿ホール集会室 講師 金沢光子
- ★ 5月27日(土) 「在宅リハビリ」 同上 講師 森本和宏

### 散歩ができるようになった私

利用会員 中村進吾

昨年の末に「りんりん」の発足を知り、利用会員となりました。私の希望は散歩でした。一日中、家の中で鍼治療をしていて、時には、一度も靴をはかない生活が続くこともあります。健康を保つには、適度な運動が必要と口では言うものの、なかなか実行できず悩んでいましたが、私の昼休みの時間に、ヘルパーの方が家まで来てくださって、一時間しっかり散歩できるようになりました。ヘルパーの方は伊藤八郎さんといいます。このかたは、私より二十歳も年が上ですが、足が早くて健康そのものです。一年の中でいちばん寒い時期でのスタート、一週間に二回、寒くて大変ではないかと心配しましたが、この三月まで散歩のときはいつもいいお天気で、三十分も歩くと汗が出てくるくらい、体がぼかぼかしてきます。鳥や犬の声、車の音、太陽の日差しをの温かさを、顔や体で直接感じる心地のよさを知ることが出来ました。そして、私がビックリしたことは、伊藤さんの博学なことです。例えば、散歩の途中で半田の町の歴史的なこと、「ここが山代交差点ですよ。」「ここが港本町で、ここからは海が見え、舟も見えますよ。」などと、道の名前、店の名前、何を売っているのか、どんな看板がかかっているのかを説明してくださるので、目の見えない私にとって手に取るように町の様子が分かり、この一時間がすばらしい楽しい時間になっています。

私はかねがね福祉というものは、人生をより豊かな生活にするものであってほしいと思っていました。これからも「りんりん」の会が、利用する人と協力する人が一体となって、より一層発展することを祈っています。

出あい ふれあい 助けあい



半田市乙川北側町2-54  
Tel. (0569) - 21-3646

### 「りんりん」の輪広がる

新しい協力会員が21人も入会してくださいました。

1月29日の発会式後協力会員希望者がたくさんでしたので、2月27日・3月4日の二日に分けて説明会を行いました。初回は用意したイスが足りなくなるほどの盛況でした。入会動機はさまざまです。

- ・自分の体験から「りんりん」のような会があったらと思った。(40代女性)
  - ・実母が遠方で世話が出来ないので、近くの方のお世話を。(40代女性)
  - ・自分の老後も無関心でいられない。(50代女性)
  - ・一人ぐらし。10年間病人介護をしたので、何が役に立てたら。(50代女性)
  - ・3月に退職。看護職を生かして、この先10年間活動したい。(60代女性)
- 熱い思いを持った方々のエネルギーを「りんりん」の大事な財産として、生き生きとした活動にしていきたいと考えています。どうぞよろしく!

### 瑞光の里で研修ボランティア

施設でのボランティアをすることで、社会の役に立ちたい、またその中で勉強もしてみたいという思いから、市内の養護老人ホーム「瑞光の里」でボランティアをさせていただくことになりました。4月の毎土曜日、9時から11時半まで、シーツ交換・掃除に、日常あまり経験しない汗をかき、更に入浴・おむつの交換と、より多くの要望にこたえられるよう、研修を積んでおります。

### ライオンズクラブで賛助会員27名

「りんりん」発会式の終了後、会に出席されたライオンズクラブの方から、「会の内容に心の打たれる思いがした。もっと詳しく知りたいので一度クラブで話をさせていただけないか。」とのご依頼がありました。その後、3月の定例会に招待されたので、会の代表と広報担当の2名が出かけ、会の趣旨の説明、活動状況等のお話を致しました。そのあと、ライオンズクラブのメンバーの方が、何と27名も賛助会員になってくださいました。

## ◇ お花見の会 ◇

在宅の高齢者の方々の生活を豊かなものにするために、「りんりん」の在宅活動の一貫として、お花見の会を行いました。各利用会員を中心に協力活動を行っている会員が、それぞれ自主的に計画し、楽しい「お花見の会」を行いました。

◇ Kさんのお宅 3月30日、参加者7名。折悪しく天候不良のため、Kさんのお宅で行いました。花はまだありませんでしたが、Kさんの昔語りには花が咲き、記念写真を写したりして、楽しい花見の宴となりました。

◇ Iさんのお宅 4月3日、参加者8名。あいにくの寒さで、桜の花は僅かな花弁を震わせていました。料亭「みずほ」の部屋を貸切り、暖を取りながらの花見となりました。Iさんは、今度は近くの保育園の桜の下でと、もう来年のことを語っていらっしやいました。

◇ Gさんのお宅 4月5日、参加者13名。Gさんは1年半ぶりに車椅子で庭に降り立ち、感激に心なしか震えておりました。Gさん夫妻を囲んで会員が座り、お寿司を食べながら話に花を咲かせた後、Gさんの部屋でご主人の詩吟、福笑いゲームなど、楽しい一日でした。

◇ Mさんのお宅 4月5日、参加者9名。普段はなかなか外に出たがらないMさんも、この日は車椅子で公園まで出かけてくださいました。会員手づくりのナタデココ入りゼリー・豚汁などに、花見団子やMさん手づくりのおにぎりで花見の宴も盛り上がりました。

## ☆事業部から☆ 福祉フェアのバザー売上げ 143,550円

2月25・26日の両日、福祉フェア参加のバザーで大成功。売上げ金は何と143,550円。ばんざーい！ おめでとう。ご協力ありがとうございました。バザーで得た大切なお金は、今後の活動資金として大切にに使わせていただきます。これからも、皆様方のお気持ちを肝に命じて頑張っていきます。

### 口座引き落としのお願い

利用会員が20人と増え、これまでのようにコーディネーターが利用料金をいただきにお伺いすることが大変になってきました。そこで利用会員の方には、知多信用金庫に口座を開設していただき、「料金引き落とし」という方法で事務の合理化をはかり、その分より充実した援助活動を展開していきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 研修

発会式後3か月が経ちました。それまで、会の枠組み作りには総力を上げてきましたが、今後は、学習・研修を積み重ねて、内容を充実し、会員の実力を高めていかねばなりません。内部研修の計画も、研修部で着々と進められています。それとともに、外部研修もいろいろと行ってきました。

3月5日 WAC岡崎セミナー（岡崎）に、1名参加。

3月12日 県理学療法士学会公開講座（雁宿ホール）に、13名参加。

3月21日 長寿社会文化協会（WAC）設立記念講演（岡崎）に、3名参加。

3月23・24日 住民参加型在宅福祉サービス全国研究セミナー（東京）に、1名参加。

「安心して暮らせる町をめざして」の公開講座に参加して

協力会員 橋口 まり子

「安心して暮らせる町をめざして」という題で、第6回愛知県理学療法士学会公開講座が開かれましたので、私も出席させていただきました。基調講演・特別講演・実践報告と、七名の方々のお話を聞く機会に恵まれ、本当に心打たれる思いが致しました。

老人病院で働いていらっしやる高口先生の、「老いの見方感じ方」の講演では、スライド説明入りでとても分かりやすく、笑ったり感心したり、実際体験したものでなければ分からない微妙な心理が、よく伝わってきました。きれいごとじゃなくって、裸でぶつかって老人問題に取り組んでいらっしやるお姿に感動せずにはいられませんでした。

同じ十分間の時間でも、健常者と高齢者の生活感覚の違い、いくら老いても這って生きていたいという願望は誰でも持っているということ、生きがいを作ってあげることでリハビリ効果を上げることなど、大切な心の交流も大事だと話されていました。

それから、半田市役所のヘルパーの方の実践報告の中で、高齢者の方となかなかコミュニケーションが取れないうちに、4年ぶりの入浴が実現した話など、ヘルパーの仕事への理解、ヘルパー自身が老人とともに生きる共感と人生はすばらしいと思える感性が必要だとも、ヘルパーの仕事は、単に体を動かして、ケースにさしのべる手によってなされるだけのものではなく、奥の深い幅の広い援助だそうです。いろいろ教えられることも多々あり、とても勉強になったと感謝しています。

私達「りんりん」も、発足して間もない介護団体ですが、これから地域福祉の一環として、何らかの形で地域の皆様のお役に立てるよう、存在感のある活動をめざして努力していきたいなあと考えています。